

# 第19回 創造ものづくり教育フェアinえちご

## 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール 実施要項

1 目的 中学校技術・家庭科で学習した内容を生かし、ものづくりの技能向上を図り、物をつくることや活用の喜びを味わうとともに、実践・発表の機会とする。また、作品を通して、生徒の技術能力を評価し、アイデアバッグコンクール全国大会参加の県予選とする。

2 日程 作品提出締め切り : 令和元年 10 月 11 日 (金) 必着  
作品審査 : 令和元年 10 月 19 日 (土) 予定

3 課題および課題製作上の注意点について ( \_\_\_\_\_ 昨年度との相違点)

(1) 競技の課題について

『バッグ (ショルダーバッグ, トートバッグ, リュックサックなど)』とする。

(2) 使用する布について

・バッグ本体の全部または、一部に、家庭にある自分または、家族の衣服を用いる。その他、衣服以外の布等も使ってよい。

・使用する衣服又は布等は、家庭用ミシンの11番もしくは14番のミシン針で縫える程度の厚さのものとする。

(3) デザイン及び機能について

・衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。

(例えば: ポケットやボタン等をそのまま利用する など)

・『バッグ』の口を閉じられるようにして、中身が出ない工夫をする。

(4) 縫製について

・入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。

・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。

・ポケットは、必ず1つ以上付ける。

(衣服のポケットを再利用しても、自分で作成してもよい。)

・スナップは、必ず1つ以上付ける。

・ボタンを付けることも可能。

(5) レポートについて

・レポートには、「テーマ」、「構想」、「自分や家族の生活を豊かにする視点」、「私にとってのものづくりの視点」と「衣服の再利用の工夫 (どの部分をどのように活用するか)」その理由を明記すること。また、まつり縫い・スナップを取り入れた部分を明記すること。

・製作レポートは規定の用紙を用いることとし、必ず手書きをして、A3カラー片面印刷で3枚提出する。(提出したレポートは審査員により事前に審査を行う)

※提出したレポートは審査に使用するため返却はしない。

※レポートの原本は全国大会当日に必要なになるので、提出せずに本人が保管する。

<以下は全国中学生創造ものづくり教育フェアにおける注意点>

○事前の準備について

- ・型紙の作成は、事前に行う。
- ・使用する衣服は、裁断等しない状態で持参する。  
(裏地が付いている衣服で、裏地を使わない場合は、表地のみ持参する。)
- ・『バッグ』に付ける装飾品は事前に製作してくることは認めない。(競技時間内で製作する)

○当日の作業について

- ・競技時間は3時間30分とし、時間内に完成させる。
- ・競技は『布を整え、型紙の配置』から始めることができるようにする。

○製作発表について

- ・当日製作した『バッグ』について、2分程度の発表を行う。  
その際、利用方法、「自分や家族の生活を豊かにする視点」「私にとってのものづくりの視点」、  
「衣服の再利用の工夫の視点」から発表をする。

#### 4 費用

- (1) 参加費 無料
- (2) 材料費 自己負担
- (3) 各地区からの代表参加にかかわる経費は、各校(自己)負担とする。なお、主催者および新潟県技術・家庭科研究会からの助成はない。

#### 5 表彰

新潟県技術・家庭科研究会	会長賞	1名
新潟県技術・家庭科研究会	技術賞	1名
新潟県技術・家庭科研究会	アイデア賞	1名

#### 6 参加申込について

- (1) 申込期限 令和元年10月11日(金)

- (2) 申込先  
送付先

〒943-0803 新潟県上越市春日野1丁目9番3号  
上越市立春日中学校 齊藤 直美 宛  
Tel (025) 522-4811 Fax (025) 522-4812  
E-mail [nsaito@jorne.or.jp](mailto:nsaito@jorne.or.jp)

- (3) 申込方法

- ・作品
- ・使用した衣服の裁断等しない状態の写真
- ・手書きの製作レポート(A3カラー印刷)3部  
(全国大会と同じ形式 全日中 Web より) <http://ajgika.ne.jp/>
- ・申込書兼参加応募書 1部(新潟県技術・家庭科研究会 Web より) <http://niigata-gika.jp/>  
※保護者、所属学校長の承諾が必要。

7 審査員

上越教育大学 特任教授 佐藤 悦子 様

8 審査日程および結果発表

- ・令和元年 10 月 19 日(土) 予定 入賞者については在籍中学校に通知する。
- ・上位 2 名については 12 月に行われる関東甲信越地区大会 長野大会に作品を出品する。

9 審査項目

評価項目		評価の内容
縫製	縫い代の始末の仕方	布やバッグの部位に応じて、縫い代を適切に始末しているか。
	ミシン縫い	・バッグの部位に応じて、縫い目の大きさや強度が保たれる工夫をしているか。 ・直線や曲線がしるし通りに縫えているか。
	手縫い	・まつり縫いが適切にできているか。 ・スナップを適切に付けているか。
衣服の再利用	デザイン及び機能性	・衣服の一部の利用は、テーマに応じたデザインになっているか。 ・衣服の一部の利用は、テーマに応じた機能を満たしているか。 ・バッグは、中身が出ないよう工夫があるか。
レポート	記述内容	・「テーマ」、「構想」、「自分や家族の生活を豊かに視点」「私にとってのものづくりの視点」、「衣服の再利用の工夫（どの部分をどのように活用するか）」、「製作工程」、「まつり縫い・スナップを取り入れた部分」を具体的に記述しているか。

10 新しい学習指導要領に対応した、「豊かな生活をつくるアイデアバッグ」コンクールへの移行

平成 29 年度に学習指導要領が改訂され、令和 3 年度から新学習指導要領が全面実施となります。今後、本コンクールも新学習指導要領に沿った内容となるよう、使用する素材等について変更する予定です。

令和元年度～2年度、自分や家族の衣服を利用すること、令和3年度、自分や家族の衣服やその他の布等を利用する。

**新学習指導要領**

B 衣食住の生活 衣生活 (5) ア 生活を豊かにするための布を用いた製作

ア 製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。

イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。

(内容の取扱い)

キ (5) のアについては、衣服等の再利用の方法についても触れること。